

お家で読もう！

# キッズから版

何に使う道具でしょうか？…博物館のフシギなモノたち

やあ、みんな！右の<sup>しゃしん</sup>写真  
は、<sup>こんかいしょうかい</sup>今回紹介する<sup>はくぶつかん</sup>博物館  
の「フシギなモノ」だよ。  
何だかわかる？



ナニナニ…「のこぎり」だって！？ <sup>だいせいかい</sup>ピンポ～ン！大正解！！  
へ！？「のこぎりなんて何にも<sup>めすら</sup>珍しくないじゃん」！？  
フフフ…これは今、<sup>こうさく</sup>工作や<sup>たいくしこと</sup>大工仕事で使うのこぎりとはちがうんだぜ。大きさを  
って1メートル以上もあるんだよ。こののこぎりは、今から50年以上前に森や林  
の大きな木を<sup>き</sup>伐り<sup>たお</sup>倒すのに使った「<sup>つか</sup>窓<sup>まど</sup>鋸」って呼ばれるのこぎりなんだ。刃の部分に<sup>ぶぶん</sup>  
<sup>まど</sup>窓みたいな大きな「<sup>きそく</sup>くぼみ」が規則正しく付いてるよね。これは大木の<sup>たいぼく</sup>幹を<sup>みき</sup>伐り<sup>き</sup>進め  
て行くときに<sup>は</sup>刃の<sup>あいだ</sup>間に木くずが<sup>つ</sup>詰ま<sup>うご</sup>ったのこぎりが動きづらくなるのを防ぐため  
の工夫なのさ。むかしは<sup>あさひかわ</sup>旭川の<sup>まわ</sup>周りでも<sup>ふゆやま</sup>冬山で木を<sup>き</sup>伐るときに<sup>つか</sup>ずいぶんたくさん使  
われていたんだ。

<sup>はくぶつかん</sup>博物館の<sup>てんじしつ</sup>展示室では今でも見られるぞ。ぜひ<sup>あそ</sup>遊びに来てその<sup>はくりよく</sup>迫力を<sup>たし</sup>確かめてみて  
ね～



# 雪アイスを作ろう！



今年も寒い冬がやってきましたね。今回は、雪を使ってアイスクリームを作る方法を御紹介します。

材料：牛乳 100ml, 生クリーム 50ml, 砂糖<sup>さとう</sup>25g, 卵黄<sup>らんおう</sup>1 個, 500ml ペットボトル  
袋<sup>ふくろ</sup> (ジッパー付/縦横<sup>たてよこ</sup>約 28cm のもの), 塩<sup>しお</sup>おおさじ 10~20 杯<sup>はい</sup>ていど, 雪<sup>ゆき</sup>2 袋<sup>ふくろ</sup>弱<sup>じやく</sup>

## <つくりかた>

- ① 牛乳, 生クリーム, 砂糖<sup>さとう</sup>, 卵黄<sup>らんおう</sup>を混ぜ<sup>ま</sup>合わせ, ペットボトルに入れます。
- ② 袋<sup>ふくろ</sup>に半分ほどの雪と, おおさじ 5 杯<sup>はい</sup>の塩<sup>しお</sup>を入れます。次にペットボトルを横<sup>よこ</sup>にして入れ, 袋<sup>ふくろ</sup>いっぱいになるまで雪<sup>ゆき</sup>を詰め<sup>つ</sup>ます。最後に塩<sup>しお</sup>をおおさじ 5 杯<sup>はい</sup>入れて, 口<sup>くち</sup>を閉じます。口<sup>くち</sup>は, ガムテープなどでしっかり止めると安心です。
- ③ 雪と塩<sup>しお</sup>を詰め<sup>つ</sup>めた袋<sup>ふくろ</sup>をよく振り<sup>ふ</sup>ましょう！中の雪がとけてしまったら, 中の水を半分<sup>はんぶん</sup>ほど捨て<sup>す</sup>, 再び雪<sup>ゆき</sup>を詰め<sup>つ</sup>, 塩<sup>しお</sup>をおおさじ 5 杯<sup>はい</sup>入れて振り<sup>ふ</sup>つづけてください。
- ④ 30 分くらい振り<sup>ふ</sup>ったら, ペットボトルを取り出<sup>ひ</sup>しましょう。振り<sup>ふ</sup>ってみて, ぴちゃぴちゃと音がしなかったら完成<sup>かんせい</sup>です。ボトルを切<sup>き</sup>って, できたアイスをおいしくいただきます。

※ 追加する雪と塩<sup>しお</sup>の量<sup>りょう</sup>は, とけ具合<sup>ぐあい</sup>に合わせて調整<sup>ちようせい</sup>してください。

※ 材料を混ぜるときにココアパウダー等を加えると, また別の味になります。色々試してみましよう。

## <アイスクリームを作るときに必要なもの>

- マイナス 20℃近くの低温  
雪と塩を混ぜると, 塩が雪をとかして温度が下がり, 雪どけ水に塩がとけてさらに温度が下がります。この結果, マイナス 20℃近くの低温になります。
- 空気と混ぜること  
はげしく空気と混ぜりあうことで, 口あたりがなめらかな, おいしいアイスクリームになります。

# よい みょうじょう きんせい 宵の明星，金星を見よう！

にちほつご かがや いちばんほし  
日没後の西の空で明るく輝く一番星を見たことはありますか？

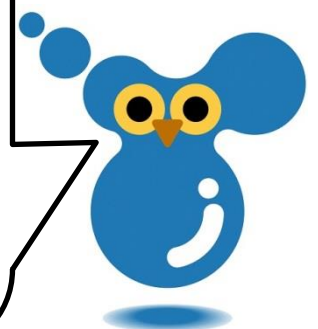
とても明るく輝いているため，よく晴れた日に偶然見つけたりするとUFOかと思  
ってびっくりする人もいるかも知れません。この星の正体は“金星”です。日没後  
の西の空に見えるので“宵の明星”と呼ばれています。また，日の出前の東の空  
にも見えるので，そちらは“明  
けの明星”ともいわれていま  
す。



年内，金星は西の空に見えて  
いますが，位置が低いためすぐ

に沈んでしまいます。おすすめは年が明けてからの1月中旬から2月中旬にか  
けてです。この頃になると，見える位置が高くなるので，太陽が沈んだ後でも，長  
い時間見ることができます。特に1月31日と2月1日は，お月様が近くに寄り添  
うので，よりきれいな眺めになります。上の図は1月31日の午後6時30分頃の  
西の空の様子です。この日は三日月で近くに赤い火星も見えています。晴れたらぜ  
ひ探してみてくださいね！

明るい星のことを“1等星”といいますが，2等星，3等星…の順  
に暗くなっていきます。逆に1等星よりも明るい星は0等星と  
呼び，さらに明るい星は - 1等星といいますが，さらに明るい  
星は - 2等星， - 3等星と明るくなり，金星は - 4等星に  
なります。1等星の100倍明るい計算になるよ！





# アイヌの くつ



くつ のことを、アイヌ語では ケリ というよ。

アイヌの人達は、普段は裸足ふだん はだしで生活していたといわれているけど、遠くへ出かけたり、山歩きをしたり、冬の季節きせつには、くつをはいていたんだ。

どんな くつ があるのかな？



## シトウケリ

ヤマブドウのつるの皮を編あんで作った夏のくつ。同じ材さいりょう料で、かばんなども作られました。



## チェプケリ

サケの皮で作った冬のくつで、大人用一足に3～4本分のサケ皮ひつようが必要でした。長持ちするチェプケリを作るため、皮が厚い産卵後のサケを用いました。



くつ底そこにサケの背びれせが。雪道を歩くときのすべり止めになるよ。

ユクケリという、シカの皮で作ったくつもあったよ。あたたかくて、じょうぶだったんだ。



## テシマ、チンル

コクワヅルで作った かんじき。ユクケリなどをはいた上から着用し、冬には欠かせない道具でした。テシマはやわらかい雪用、チンルは春先のかたい雪用です。左の写しゃしん真はテシマです。

発行日 平成28年12月13日

編集 旭川市教育委員会 社会教育部 旭川市科学館・旭川市博物館

旭川市科学館 〒078-8391 旭川市宮前1条3丁目3番32号

TEL 0166-31-3186 FAX.0166-31-3310

<http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/science/>

旭川市博物館 〒070-8003 旭川市神楽3条7丁目（旭川市大雪クリスタルホール内）

TEL 0166-69-2004 FAX.0166-69-2001

<http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/hakubutukan/>